

立教大学キリスト教学研究科 公開講演会

◆「天皇制とキリスト教」研究会 共催◆



講師：小原 克博 氏

（同志社大学神学部教授）

司会：ミラ・ソントーク

（立教大学文学部准教授）

ポスト世俗 主義時代の 政教分離

ーキリスト教、天皇制
を視野に入れて

2012年 11月19日（月）

18:30～20:30

立教大学池袋キャンパス

12号館地下1階 第3・4会議室

本講演は、現代世界における政治と宗教の関係を考える手がかりとして、世俗主義とその変遷に焦点を当てる。

その事例として、キリスト教（政治神学）と天皇制をとりあげながら、両者が近代から現代にかけて果たしてきた歴史的役割を考察する。

従来、西欧型の政教分離が近代化の前提条件の一つと考えられてきたが、グローバル化し、宗教が多様化する現代社会において、そうした前提がどの程度有効なのかを検証し、ポスト世俗主義時代の課題を描く。

事前申し込み不要（どなたでもご参加いただけます）

◆問い合わせ先◆ 立教大学学部事務1課（03 - 3985 - 2530）
立教大学キリスト教学研究科（03 - 3985 - 4779）

講師：小原 克博（こはら かつひろ）氏

同志社大学 神学部・神学研究科 教授 / 一神教学際研究センター長

専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論に取り組む。現在、京都・宗教系大学院連合 評議員、日本宗教学会 評議員、宗教倫理学会 評議員、日本基督教学会幹事を務める。

著書として『宗教のポリティクス——日本社会と一神教世界の邂逅』（晃洋書房、2010年）、『神のドラマトウロジー——自然・宗教・歴史・身体を舞台として』（教文館、2002年）、『原発とキリスト教——私たちはこう考える』（共著、新教出版社、2011年）、『原理主義から世界の動きが見える——キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』（共著、PHP 研究所、2006年）、『よくわかるキリスト教@インターネット』（共著、教文館、2003年）、『キリスト教と現代——終末思想の歴史的展開』（共著、世界思想社、2001年）、『E U 世界を読む』（共著、世界思想社、2001年）などがある。

★立教大学池袋キャンパス 案内図★

会場（地下1階）

